

# 「情動系を調節するオピオイドδ受容体作動薬の開発」



## ■期待される成果

- ・新規作用機序による安全性の高い抗うつ・抗不安薬の開発
- ・上記実現による一億総活躍社会実現への貢献

## ■シーズの内容

- ・オピオイドδ受容体作動活性を有する新規低分子化合物

## ■代表機関・課題リーダー

日本ケミファ株式会社 中田恵理子

## ■研究開発実施機関

日本ケミファ株式会社

北里大学、筑波大学

国立精神・神経医療研究センター

## ■実施期間

平成27年10月～平成30年3月

## ■ 研究開発のポイント

### オピオイドδ受容体作動薬に期待する薬剤像

- ✓ 既存の抗うつ薬とは異なり、投与早期から治療効果が得られる。
- ✓ 新規作用機序により、既存薬で効果が得られなかった患者でも治療効果が得られる。
- ✓ 既存の抗うつ薬や抗不安薬で見られる副作用の懸念が少なく、様々な患者に対して安全に使用できる。
- ✓ 先行品で問題となった痙攣リスクが低い。

### 開発候補品

新規低分子オピオイドδ受容体作動薬

今回のプログラム範囲

非臨床試験  
(日本ケミファ)

薬理

(国立精神・神経医療研究センター、日本ケミファ)

原薬の製法改良

(筑波大学、北里大学、日本ケミファ)

Goal

- ・臨床第I相試験開始に必要な非臨床データの集積
- ・GMP原薬製造法確立